

平成27年度 再評価委員会

路線名：一般県道 松尾湯の原線
(小副川工区)

事業名：道路整備交付金事業

事業地：佐賀市富士町小副川

(事業採択後10年が経過)

1

一般県道 松尾湯の原線 位置図



2

事業目的

1

幅員狭小で
車両通行に支障



線形不良箇所

バイパス整備が完了しなければ整備効果が得られない

歩道がなく
歩行者が危険

2



バイパス(歩道含む)整備により

交通の円滑化、通学者の安全性確保

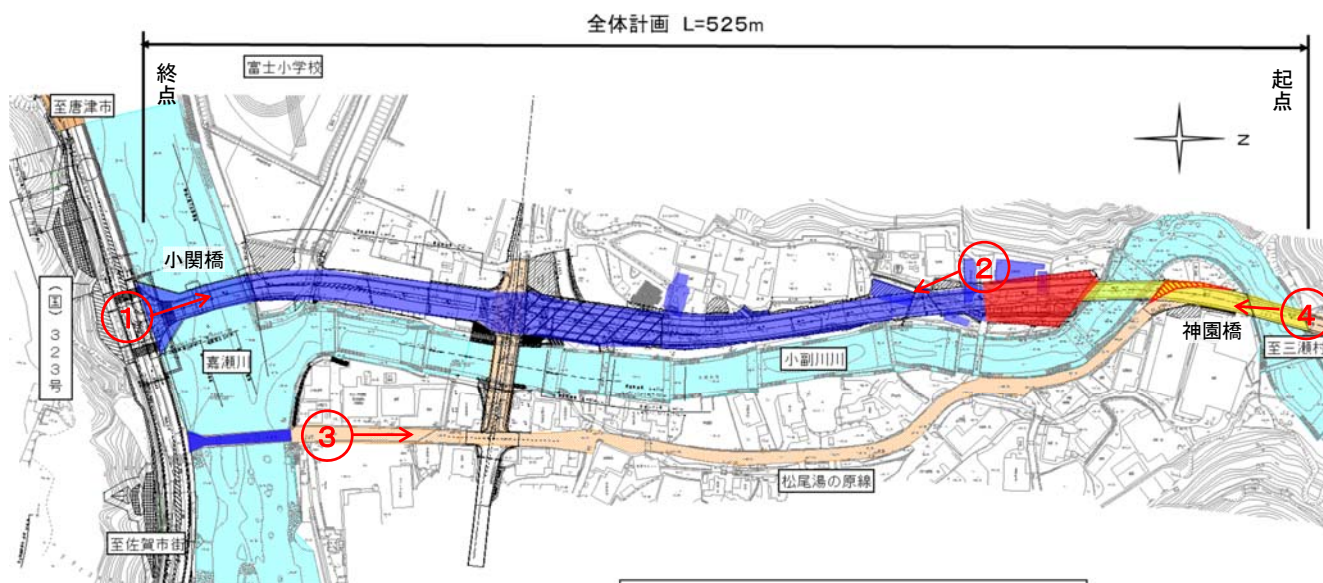
事業概要

- 全体事業費: 11.8億円
- 工期: 平成18年度～平成30年度
- 全体延長: L=525m
- 事業内容: 改良工 L=525m
橋梁工 N=3橋
用地買収 A=6,288 m²
家屋補償 N=10戸

事業の進捗状況

	平成26年度まで	平成27年度	平成28年度以降
事業費(億円)	9.1	0.1	2.6
進捗率(%)	77.1	80.0	100.0
用地進捗率(%)	99.1	99.1	100.0

一般県道 松尾湯の原線 平面図



凡例	
青	平成26年度まで
赤	平成27年度施工箇所
黄	次年度施工箇所

5

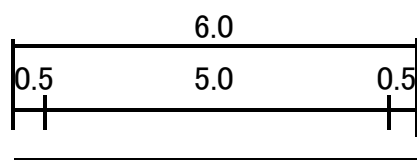
平成27年 現地状況



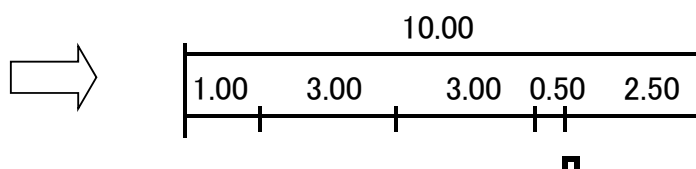
6

一般県道 松尾湯の原線 横断図

現況



計画



7

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 平成25年度に富士南小学校が富士小学校(現在の佐賀市立小中一貫校富士校の小学部)に統合されたことで、本路線を利用して通学する児童数が増加している。
- また、周辺には古湯温泉、熊の川温泉、平成24年4月に完成した嘉瀬川ダム(富士しゃくなげ湖)などがあり、本路線は富士・三瀬周辺の観光拠点の周遊ルートの一つとなっている。

8

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比}(B/C) = 15.6 / 13.5 = 1.2$$

【便益】

走行時間短縮便益	=	10.0億円
走行経費縮小便益	=	3.2億円
交通事故減少便益	=	2.4億円
合計		15.6億円

【費用】

事業費	=	13.1億円
維持管理費	=	0.4億円
合計		13.5億円

※基準年における現在価値

9

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

10

対応方針(事業課案)

- 小学校周辺の道路であるが、車道が狭小なうえに歩道が整備されていないため、交通の円滑化に加え通学路の安全性向上のため、事業を継続したい。